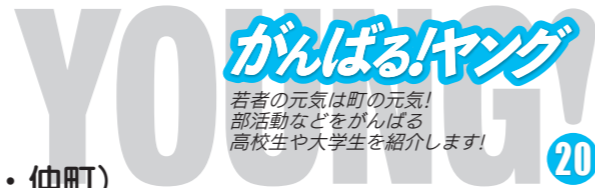




## 加藤 〇〇さん (17歳・仲町)

秋田工業高等学校3年、陸上競技部所属。長距離種目の「3,000円障害」で県大会と東北大会で準優勝し、8月に行われたインターハイへ出場しました。



### 実直に努力を重ね インターハイ出場を果たす

「全国高校駅伝大会」への27回の出場や同大会での県勢最高となる4位入賞、各種大会の個人種目での上位入賞など、輝かしい実績を誇る名門・秋田工業高校陸上競技部に所属する加藤さん。2年前に同部へ入部した際は、周囲との実力の差を痛感したそうです。「部員のほとんどが前期選抜で入学した人たちで、一般選抜を経て入った自分とは大きな差があり、タイムも部内でいちばん遅かった。また、部内での順位がそのまま県大会の結果へ反映されることが多く、部のレベルの高さを感じた」

加藤さんがそう振り返るように、経験したことのない環境に当初は戸惑うこともあったそうですが、「誰

か1人にでも勝とう」「毎日みんなより1秒でも多く走ろう」と、自身の向上のための原動力に変え、ひたむきに努力を重ね続けました。

また、寮生活を送る中での生活面での自立や、寮長としての経験が精神面を成長させ、真摯に競技へと向き合う姿勢がさらに磨かれました。

その加藤さんが専門とする種目は、コース内に設けられたハードルや水濠などの障害物を跳び越えながらタイムを競う「3,000円障害」で、日々の走り込みや手作りのハードルでの自主練習などの成果を発揮し、本年6月の県大会、東北大会ともに準優勝。最高峰の舞台となる、8月の「全国高校総合体育大会(インターハイ)」への出場を果たしました。

加藤さんは、「初めて経験する舞台で雰囲気にもまれてしまった部分

もあったが、全国から集まった選手たちと競い合ったことはとても良い経験になった」と、充実の夏を振り返ります。

現在は、本年10月の全国高校駅伝大会県予選へ向けて練習に励む中で、「部内の熾烈な競争を制し、大会出場メンバー7人の枠を勝ち取れるよう頑張りたい」と話しました。



### イギリス出身のゾーイさんが新しい外国語指導助手に着任!

本年8月から、新しい外国語指導助手として、イギリス出身のゾーイさんが着任しました。

今月号では、ゾーイさんの着任のあいさつをご紹介します。



はじめましてゾーイです

Hello everyone in Gojome-Machi!  
My name is Zoe Aba Dennis Fell, I am happy for you to call me Zoe. I am from a big town called Wokingham in Berkshire, England.  
My town also has a morning market, just like Gojome. Our market has lasted since 1219. A long time!  
This is my first time in Japan. I am very happy to be here. I am excited to learn more and try my best.  
My hobbies are cooking (and eating!), reading and travelling. I enjoy watching football (soccer). I am excited for the 2022 World Cup. I will be supporting England, Ghana and Japan!  
If you see me around town, please feel free to say hello- I will say hello and wave back!  
Thank you for welcoming me into your town- I will work hard.

五城目町の皆さん、はじめまして! ゾーイ・アヴァ・デニス・フェルです。私のことは「ゾーイ」と呼んでください。

私はイギリスのパークシャーにあるウォーキングムという大きな町の出身で、五城目朝市と似たような、1219年から続く朝市があります。日本に来るのは初めてという中で、五城目に来ることができて嬉しいです。これからもっと町について学び、五城目での暮らしを満喫したいと思います。

趣味は料理(と食べること)、読書、旅行です。フットボール(サッカー)を観戦するのも好きで、今年のワールドカップが楽しみです。イングランド、ガーナ、そして日本を応援します!

町で私を見かけたら、気軽に声をかけてください。あいさつをして手を振ります!

私を五城目町に迎え入れてくれてありがとうございます。一生懸命働きます。

## 輝け、五城目びと



沢田石〇〇さん㊦ (五城目一中3年・湯ノ又3区)

佐々木〇〇さん㊦ (五城目一中3年・岡本一区)

畠山 〇〇さん㊦ (五城目一中3年・岡本一区)

本年7月の「全県中学校総合体育大会」で好成績を収め、8月の東北大会・全国大会へ出場した沢田石さん、佐々木さん、畠山さんの3人。

柔道の個人戦に出場した佐々木さんは、得意技の「内股」を武器に、自ら積極的に技をかけるいく姿勢を貫きながら一戦一戦に臨みました。

「練習で特に磨いてきた組み手争いで優位に立ち、思いどおりの展開で試合を進めることができた」と総括するように、県大会では終始危なげない試合運びで見事優勝。その後行われた8月5日の東北大会では準優勝し、8月24日には全国の舞台を戦いました。

佐々木さんは、「柔道が好きで、今まで一生懸命取り組んできた。全国大会では、中学校生活を懸けて築いた自分のスタイルを全面に出し、どこまで通用するか確かめたいという気持ちで挑み、最後まで自分を信じて戦うことができた」と、長い夏を振り返りました。

畠山さんと沢田石さんは、同じ陸上競技部に所属。400円走に出場した畠山さんは、出だしのスピードと後半の粘りを強みとする走りを発揮し、県大会で4位入賞。砲丸投げに出場した沢田石さんは、小学生のころにラグビーで培った持ち前のパワーと、日々研究と改良を重ねたフォーム(投げ方)を武器に同大会で3位入賞。それぞれ、8月8日から10日に行われた東北大会の舞台を踏みました。

畠山さんは「3年生になってからコーチにすすめられて始めた400円走が自分に合っていて、東北大会への出場が叶った。東北大会でも緊張せず、自分の走りができた」と、沢田石さんは「いろいろな選手の投げ方を見て、日々勉強してきた。東北大会では、強い選手たちから学びながら、自分のベストを尽くすことができた」と、それぞれ大舞台を戦い終えた感想を話しました。

全県総体で好成績を収め、東北・全国大会へ出場